



巻頭言

副院長就任の挨拶 よこやま 横山 のぼる 登



この度、令和3年4月1日より副院長に就任しました消化器センターの横山登です。新型コロナウイルス感染症対応下でこのような重大な任を仰せつかり、身が引き締まる思いです。

私は、消化器外科医として国内外の医療機関で研鑽を積み、平成11年4月より現病院の前身である昭和大学附属豊洲病院外科に着任して21年が経とうとしています。私が赴任した当時の豊洲駅周辺は、ららぽーとや高層タワーマンションもなく、日本で一番初めにオープンしたセブンイレブン第1号店があるくらいでした。豊洲地区の急速な発展に伴う江東区南部地域の人口の急増に対応する目的で、豊洲駅前にあった昭和大学附属豊洲病院は、ベイサイドに昭和大学江東豊洲病院として平成26年3月24日に

新築移転しました。私は昭和大学附属豊洲病院時代から、誰よりも長く、誰よりも親しく、そして誰よりも多くの周辺地域の先生方と顔の見える病診・病病連携を構築して参りました。この経験を生かして、当院が開院以来力をいれている「総合サポートセンター」の責任者としてさらに体制強化し、地域の先生方や患者さんからより信頼される医療機関を目指して参りたいと思います。

昭和大学はチーム医療を推進しています。学生は1年次に富士山の下で、医・歯・薬・保健医療学部（看護・理学療法・作業療法）の学生が全寮制で1年間を過ごし、ここからチーム医療教育がスタートしています。良質で安全な医療を提供するためには、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、栄養士、事務職員などの協力が必要です。当院も常に多職種がチームとなって患者さんに対応していくチーム医療を常にこころがけています。私の郷里、「甲斐の国」の武将武田信玄公が「人は石垣、人は城」と歌い、形としての城よりも中にいる人間の重要性を説いていますが、まさにその通りだと思います。病院も、建物や医療機器などのハードだけでなく、そこで働く職員の能力、心意気、思いやりが最も大切だと思います。

新型コロナウイルス対応は、しばらく継続すると予想されます。今後さらに進む高齢化社会、災害医療対策など地域医療の課題もたくさんあります。これらも笠間病院長をサポートし、発展、改善を続ける病院づくりを目指して頑張りたいと思います。今後ともご指導の程どうぞ宜しくお願いいたします。



第85号のトピックス

- 副院長就任の挨拶
- 卒後臨床研修評価の受審について
- Web講演会のお知らせ
- 専門外来開始のお知らせ（消化器センター）
- 「ご意見・ご要望」について
- 編集後記

卒業臨床研修評価の受審について

NPO 法人卒業臨床研修評価機構 (JCEP) とは、国民に対する医療の質の改善と向上を目指すため、臨床研修病院における研修プログラムや研修状況の評価を行い、我が国の医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院の質の向上を図ることを目的として設立された機関です。

当院は、2021年3月3日 JCEP による第三者評価審査を受審し、4月1日付で4年間の認定を受けました。本審査の受審にあたりまして、昨年7月から毎月ワーキンググループを開催し、研修環境の改善に努めてまいりました。臨床研修病院としての理念・基本方針の策定、臨床研修医のチーム医療への参加の必修化などより質の高い臨床研修を実施できるよう体制を整備してきました。

今回、JCEP より「貴院は、大都会の中心部において地域の中核病院として、言わば地域住民に支えられている病院です。特に年間を通して数日しか休診しない運営方針は極めてユニークで、地域医療に安心感を提供しています。臨床研修の指導体制やマネジメント体制が確立され、研修医も落ち着いて研修しています。」と高い評価をいただきました。

地域の皆さまのお力添えなくして、当院の運営はあり得ません。今後も地域の皆さまのお力になれるよう、質の高い医療の提供を継続してまいります。

改善点としては、「臨床研修医のインシデントレポートの提出数が不足していること」が挙げられました。このことにつきましては、どのような事象がインシデントに該当するかの理解が必要であり、今後指導医と共に、インシデントレポートを提出する習慣を身につけ、医療安全の意識を向上させる必要があります。

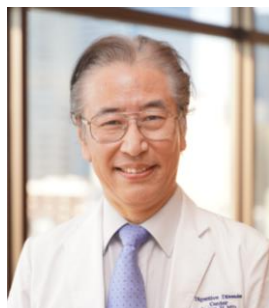
今後もこれらの課題に取り組んでいくことにより、よりよい研修プログラムを構築し、臨床研修医に質の高い教育・研修を実施することによって、地域の皆さまにより安心・安全な医療を提供し、ひいては医学の発展に努めてまいります。



Pick up

Web 講演会のお知らせ

昭和大学江東豊洲病院の各診療科の取り組みを動画で公開しています。
ご興味のある方は、お手持ちの携帯で QR コードを読み取りください。



〈今月のテーマ〉

「難治性 GERD に対する多角的な治療戦略」
(胃食道逆流症)

消化器センター 教授 井上 晴洋



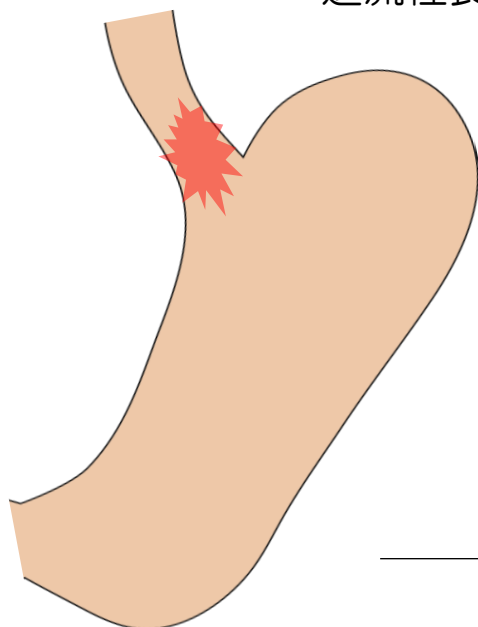
※この動画は医療者向けで作成されているため、医療専門用語や、傷や部位など医療処置が動画で流れるものがあります。

来月の動画もお楽しみに！

専門外来開始のお知らせ（消化器センター）

「胸やけ」がひどい・・・

「逆流性食道炎のもっとも典型的な症状は《胸やけ》です
ほとんどの場合は薬でコントロールできます。
ご遠慮なくご相談・ご受診ください。



【当院の特徴】

当院では薬物療法でコントロールが不十分な
逆流性食道炎に対し、低侵襲性の内視鏡を用いた
「ARMA(アーマ)」の治療ができる全国唯一
の治療施設です。 (上記 QR コードをご参照ください)

胸やけ外来

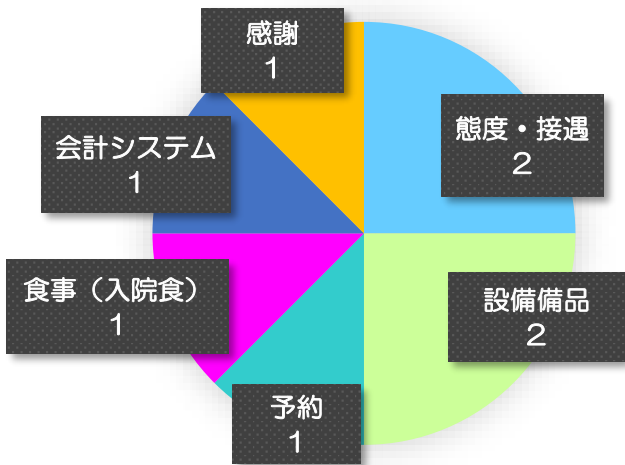
(外来日:火曜日(午前・午後)、金曜日(午前・午後))

はじめました。

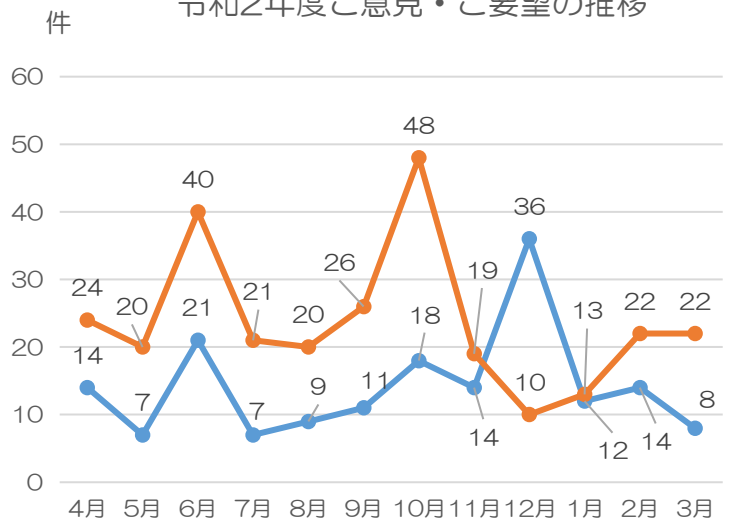
ご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>入院中の食事メニューが、おかずは魚ばかりでたまに鶏肉が出るくらい。魚が嫌いな自分は食べられるものがない日がある。肉のメニューをもっと多くして欲しい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご入院中は医師の指示の下、食事基準に沿った栄養バランスのとれたお食事を提供しています。肉料理の他、豆腐・卵料理を取り入れ献立を作成していますが、食種によっては提供する食材が制限されることがございます。また入院中は個々の嗜好（好き嫌い）の対応は基本的に行えませんが、お魚・お肉がどうしても食べられない等ございましたら、個別対応していますので、病棟スタッフにお声掛けください。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：栄養科</p>

令和3年3月分
ご意見・要望の内訳
昭和大学江東豊洲病院総件数 8件



令和2年度ご意見・ご要望の推移



編集後記

春から初夏に向けての各種活動の期待高まる季節、というのが例年のGW前の認識であろうかと思えます。しかしながら、2021年もまた、新型コロナパニックに翻弄させられている状況から未だに抜け出せず、世界的には患者数は1億人を超え、世界最大の感染症になってしまっています。経済も停滞する中、相も変わらず疑心暗鬼になり他の者を敵視する風潮や事件などを見るに、昨年この項に挙げた言葉、『このような時だからこそ冷静になって、社会を守るためには何をしたら良いのか、各々がよく考えて行動するべき』の実践ができていたかどうか、自問自答繰り返しています。

そんな中でもかすかに光は見えていて、その一つが新型コロナウイルスに対するワクチンです。その普及が社会に好循環をもたらす可能性を期待しつつ、しかし我々も油断することなく感染予防の対策をしっかりと行いながらできることをしてゆく、という態度が必要ではないかと、改めて考えさせられる今日この頃であります。

呼吸器・アレルギー内科 おかだ だけのり
岡田 壮令



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
TEL03-6204-6000(代表)
発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital